



あゆみ苑

利用者さん合作

創樹

題字は 田中蘆雪さん

発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

秋風に思うこと



長い夏の暑さから少しづつ涼しさを増し秋風を感じる季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今夏の大雨や台風、北海道での地震など大きな災害に襲われることが多い、苦しい生活を余儀なくされている方がおられます。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さてその一方で、巷では広島東洋カープの勝利で歓喜に包まれております。私はヘルパーとして、様々な障がいのある方のご自宅に訪問して支援していますが、昨今のカープの活躍には各家庭で様々な反響がありました。他者と会うことが苦手で自宅から外へ出られない方が、カープの話には嬉しそうに新聞を広げて、野球をあまり知らない私にいろいろと教えてくれることがあります。重い障がいのため、わずかな仕草で気持ちを知らせてくれる方が、カープ坊やのイラストを見るや否や今までにない表情で笑ってくれるなど驚かされることは多々ありました。カープの活躍がたくさん的人に影響を与えていたことは広島県民として誇りに思っています。そんな中、私たち障がい福祉の仕事は利用される方にどのような影響を与えているのでしょうか。

障がい福祉の仕事は、直接利用される方に接する仕事ですが、目に見えて大きな成果を実感したり、確かな手応えを得たりすることが難しい仕事のようになります。経験や研鑽によって変化はあるのでしょうか、年を重ねるにつれて悩みや迷いが増えてくるよりも感じます。若いスタッフだけでなく、新たに福祉で働くことを決めて他業種から来たスタッフにとって、利用される方が自分の存在をどう捉えているかは、意識するところではないでしょうか。

自分の仕事について考えていると、あるテレビドラマの一節を思い出します。ある漫画家の先生が迷える青年に話したセリフなのですが、「一見、余計な事をする時間も、回り道も、あつつい」と思います。いろんなことがあって、すべてが今に繋がっていく。あなたのようになりたいと考えたりして生きていったら、それは実りのある時間だと、私なんかは思います。」と、青年に諭すのです。私はこのセリフを聞いて少し救われたような気持ちになりました。私たちが自問自答する日々も、じつくり考えて動くことも無駄な時間ではない。大きな実感はないのかもしれません。日々も、じつくり考えて動くことも無駄な時間ではない。大切な実感はないのかもしれません。日常生活にこぼれている小さな仕草や微笑みを集め、振り返つてみた足跡を私たちの仕事はやりがいとするのかもしれません。一緒に働くスタッフが今という時間をどのように見つめているのか分からりませんが、多くの障がい福祉で働くスタッフがやりがいを持って働くために、この仕事の楽しさや大切さを理解し、職場がこの仕事に向き合つていける環境であることが、今日の前にいる障がいのある方の人生を豊かにしていくことに直結すると思っています。

私自身、自分の足跡を振り返り、喜びだけでなく痛みや別れも含めて、実りのある秋にしたいと考えています。

ヘルパーステーションあしすと

黒田将義

いのちの日

創樹会は八月十一日を「いのちの日」と称し、一十年来、「いのちの日の集い」と一日を通しての職員研修を行つてきました。曇り空の中、今年も福山六方学園をはじめ、多くの利用者さんと職員が「いのちの日の集い」に参加しました。



今までに学園で「」になつた方々を追悼して黙とうを行い、佐藤秀信副園長が挨拶の言葉を述べて、利用者さんにによる献花を行いました。慌ただしい毎日の中、いのちの大切さを改めて振り返る、貴重な時間になりました。

救急法講習

九月二十日に、南消防署の救急隊員の方五名をお招きして、救急法講習を開催しました。

各事業所から、職員総勢

四十一名の受講となりました。心肺蘇生法に関する基礎知識を学んだ後グループに分かれて心肺蘇生法・人工呼吸法・AEDの使用について実技練習を行いました。その後、止血法・異物除去法についての説明をいたしました。

今までに活かしていきたいと思います。
今日の学びを今後の支援

九月五日（水）～三十日（日）の期間で鞆の浦 鯛匠の郷 とつとギャラリーにて、第二十八回夢☆紡ぎ展が開かれました。

あゆみ苑成人寮とさわらびの他に、「ゼノ」やまびこ学園とあんずの家から、草木染め・さわり・陶芸・組紐・土笛・木工等の作品が出品され、今年も、各施設からアイディアに満ち溢れた数多くの商品が並び、見に来られたお客さんを楽しませてくれました。

今後も、利用者の方と一緒に作った作品を地域の方々に見て頂ける機会が多く持てたらいいなと思っています。

夢☆紡ぎ展

ご寄贈

福山ロータリークラブ様より



JFEスチール
株式会社西日本
製鉄所様より

福山市社会福祉協議会の推薦で、JFEスチール株式会社西日本製鉄所様より、プロジェクターとスクリーンをご寄贈いただきました。

七月二十三日、福山すこやかセンター一階地域ケア会議室にて贈呈式が行われ、JFEスチール総務部総務室長の眞澄茂様よりONE-sてっぷ石井管理者に目録が渡されました。

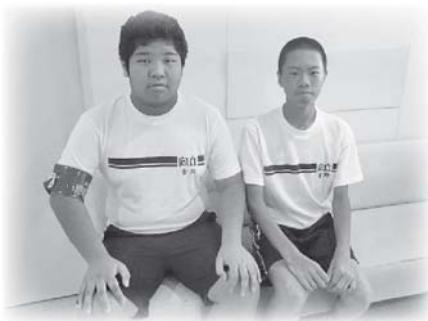
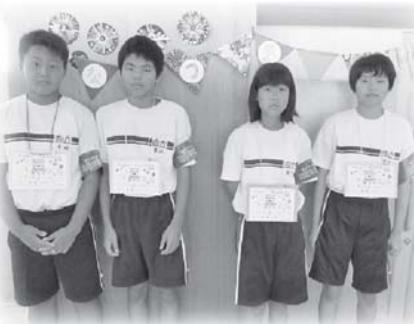
福山ロータリークラブの皆様、大変ありがとうございます。

放課後等ディサービス及び児童発達支援に通つてくる子どもたちのために大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。



challenge week

8月20日～8月24日の5日間、中学生をお迎えし、チャレンジウィークを行いました！



あゆみ苑では五名の向丘中学校の皆さんをお招きしての職場体験がありました。台風が来て最終日が中止になつたりと、色々ハプニングはありましたが、元気な中学生の皆さんを前にして、利用者さんたちもとても喜ばれていました。我々スタッフも、とても元気をもらいました。向丘中学校の皆さん、お疲れ様でした！

あゆみ苑成人寮

さわらび

八月下旬、今年も向丘中学校の生徒さんが四名、チャレンジウィークに来られました。最初は慣れない環境に戸惑われている様子も見受けられましたが、進んで利用者さんと関わりをもたれていました。今回はその活動と一緒に入ってもらい、支援を実際に経験しています。今回はその活動をしてから、それぞれ自己紹介をしてもらいました。

internship

8月20日～8月24日の5日間、3事業所でインターンシップを実施しました。



ONEーしてっぷでは、子ども達が夏休み期間のため、朝から夕方まで活動を中心とした日課を組みながら支援を行っています。今回はその活動と一緒に入ってもらい、支援を実際に経験してもらいました。

初めてのことに戸惑いながらも、どの学生も一生懸命子ども達とコミュニケーションをとろうとする姿が見られました。今回の経験が、今後の職業選択への糧になってくれたらと思っています。

ONEーしてっぷ

ふあんたす

今回参加したのは、社会福祉事業所での体験は初めてで、最初は緊張した表情でした。発達特性への配慮や放課後等デイサービスについてなどの説明をした後、子ども達が来るまでは、環境整備や活動準備等の業務を体験してもらいました。子ども達が来所してから、それぞれ自己紹介をして一緒に遊んだり、活動の中で関わったりしました。硬かった表情が自然に笑顔になつていき、子どもたちとの関わりからでしか得られない学びがあつたと思います。

学生が福祉の仕事に興味を持つてくれることはそこに働く私たちにとって嬉しいことで、インターンシップを行っていくことに大変さはあっても必要なことだと思っています。体験を通じて学んでもらい、働いてみたいと思つてもらえるようになりがいと楽しさを感じながら働いていくことを知つてもらいたいと思います。

してっぷ

してっぷでは、一ヶ月までの年齢の子ども達と関わっていました。初めて子どもと関わる学生さんもいて戸惑っている様子が見られましたが、子どもたちにとっては、「新しい先生が来た！」という思いがあつた様で、子ども達から「先生一緒に遊び！」と誘う声も聞こえきました！

子どもたちが降園した後は学生さんの「子どもとの関わり方について」などの質問に答えていました。5日間という短い期間で、分かりやすい支援方法をお伝えすることが難しかつたので、来年度に向けた課題にしたいと考えます。さらに、児童発達事業所の役割や、幼少期の療育の大切さを伝えられたらなど、感じ

人材育成研修

七月二十日と二十七日に【育成研修】と題して、新たな研修を行いました。また二十日には三年目までの職員を対象にしたマナー研修を行いました。法人職員として大切なことを参加職員と一緒に再確認しました。

二十七日には、さわらび・さくらの事例発表をもとに、ディスカッション形式で意見を出し合いました。どちらも新たな試みでしたが、研修を通して、他部署の職員と意見を交わすことで、今まで以上にモチベーションを上げることができました。今後も資質向上を目指し、様々な研修会を計画していきたいと思います。

サポートセンター友の家 ふうりんの集い

サポートセンター友の家の家では月に一度の余暇活動として、希望者と毎月「ふうりんの集い」をしています。

八月は、毎年恒例のそ
うめん流しでした。利用
されている皆さんとスタッ
フでいつも協力し合い
ながら準備をします。

「今から流すよ!」の声
でそうめんを流し始める
と、「ありやー残念!」
「取れたあ!」とあちこ
ちで歓声が上がります。
トマトやぶどう、チーズも流れ、皆さん笑顔で脳
やかなそめん流しになりました。



鞆の津ミュージアム 文体の練習



鞆の津ミュージアムでは、6月30日～9月2日にかけて企画展『文体の練習』を開催しました。本展では、現役警備員の方がつくられたガムテープによる独自の案内標識文字「修悦体」や全盲の方がプログラム・制作した視覚・聴覚・触覚のいずれでも遊べるマルチモーダラアクションゲーム《Planet Saga》など、文字や言葉のかたちをテーマに13組の方々による様々な表現をご紹介。学園からの出展は、西山友浩さんと藤井恵子さんのおふたりです。

また、9月9日から開催した広島県知的障害者福祉協会の第5回となる作品展『どや、〇〇じゃろ!』では、およそ70点の様々な表現を展示。8月10～11日には、フランスからお迎えした国立現代芸術センターの館長であるパトリック・ギグールさんによる「アル・ブリュット」についての講演を広島と福山にて受講。その際、鞆の津ミュージアムにもご来館いただき、展示を案内しながら色々にお話をすることができました。



西日本豪雨について

七月に発生した西日本豪雨は、発生してから三ヶ月を過ぎた現在も未だ各地にその爪痕を残し、被害の甚大さを物語っています。

法人内の、建物や人的被害などは特にあります。園道が一部通行困難な状況に陥りました。道路が一部陥没した部分もあり、対応を考えていたところ、地元の西町内の方や水呑消防団の方が助けにきてくださいました。土嚢を積み上げ、陥没部分に埋める作業を行い、その日のうちに通行を再開することができました。「協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

法人内は、幸いにも甚大な被害を受けることはありませんでしたが、周辺では多くの方が被災されております。法人として何か出来ることはないかと考え、広島県社会福祉法人経営者協議会を通して、断水が続いておりました地域への飲料水の提供をさせていただきました。また、三原市本郷町の流木や土砂の撤去作業にも協力させて頂きました。

まだまだ元の生活を取り戻せていない方々が多くおられます。私たちにできる復興支援を今後も続けていきたいと思います。



学会報告（第五十三回福山大会）

平成二十九年八月。私達は、日本発達障害学会第五十一回大会視察のために群馬県前橋市を訪れました。主に大会運営のノウハウを収集するためでしたが、その中でとても印象に残る光景に遭遇しました。それはシンポジウム会場が聴講者で溢れているにもかかわらず、その内容を一言も聞き逃すまいと通路で真剣にメモを取られている姿でした。それは、これから始まる予想もつかない一年の準備期間、私達を支える光景となりました。

視察を終え、福山の地へ戻ると早速、実行委員の皆様を中心とした本格的な準備が始まりました。まず大会の柱となる題目「生活者という視点からの発達支援」へどんな生きづらさを抱えている生きるのかが決定するとそれに沿ったプログラムが構成されていきます。

この学会を組織している医療、教育、福祉、就労の四分野から様々な情報が発信されてくるのですが、一つのテーマでも様々な見解があることや課題共有のキーワードは連携であることなどが見えてきました。生きづらさとは何なのか?それを抱えるご本人や支援者はどうすれば良いのか?この大会でどのような相乗効果が生まれるのだろうか?と少しつぶつしながら、群馬で見たあの光景をながら、私たち事務局員も一言も聞き逃すことのないよう四人がかりの筆記体制で会議に臨んでおりました。

そして迎えた第五十三回福山大会。七月に発生した豪雨により交通機関の影響も心配されましたが、計一日間における参加者総数五百六十四名と大変多くの方に参加いたたき、また、シンポジストの方々からも興奮冷めやらぬお喜びの声を頂戴する大変盛況な会となりました。この大会を開催するにあたり、大変厳しいスケジュールの中、「指導」協力頂きました福山市立大学の先生方を始め、実行委員の皆様、スタッフや関係者の皆さまに改めてお礼申し上げます。また、この貴重な経験を今後に繋げていきたいと思います。

河本 康宏



9月1日より、あゆみ苑成人寮で勤務いたします河本康宏と申します。

若いスタッフに負けない様に頑張り、利用者の方の生活向上に努めて行きたいと思います。よろしくお願ひ致します。

新人紹介



半田 鈴香



9月からの勤務になりました半田です。今は4か所のホームをまわっています。

元気しか取り柄がないのですが、とにかく頑張ります。よろしくお願いします。

高垣 由美



今年6月からサポートセンター友の家で勤務しています。グループホームでの仕事は初めてなので、皆さんを参考に日々頑張っています。よろしくお願ひ致します。

鳥越 康展



障害者福祉の仕事に興味を持ち、8月中旬より彦山寮で働いています。自分自身、何ができるか何もわかりませんが利用者の気持ちを考えながら頑張っていきたいと思います。

川島 友子



4月より、サポートセンター友の家で勤務させて頂いています。初めて経験することもあり、緊張した日も多くありました。利用者さんが安心して生活できる暮らしの提供に努めたいです。

秋山 咲



9月からふあんたすで勤務させていただいています。

スポーツをして体を動かすことが好きで、小さいころからバドミントンをしています。

子どもたちと一緒に楽しく、日々新たなことを学びながら過ごさせていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

あゆみ苑 成人祭
八月三日、あゆみ苑夏まつりが開催され、テーマは「キラリ☆みんなダイヤモンド！」
出し物では、巫女さんに扮したスタッフに先導されて神前式の模擬結婚式が執り行われました。また、ファッショニショー、ガラポンくじやお化け屋敷も開催し、閉会式では毎年恒例のくじ引き抽選会！名前を呼ばれるたびに会場が沸いて大盛り上がりの抽選会でした！
当日参加して下さった「ゼノ」なみの家のみなさん、本当にありがとうございました！

八月三日、あゆみ苑夏まつりが開催され、テーマは「キラリ☆みんなダイヤモンド！」
出し物では、巫女さんに扮したスタッフに先導されて神前式の模擬結婚式が執り行われました。また、ファッショニショー、ガラポンくじやお化け屋敷も開催し、閉会式では毎年恒例のくじ引き抽選会！名前を呼ばれるたびに会場が沸いて大盛り上がりの抽選会でした！
当日参加して下さった「ゼノ」なみの家のみなさん、本当にありがとうございました！

あゆみ苑 成人祭

夏祭り

福山六方学園



夏祭りでは屋台や出し物・カラオケをし、子ども達は食事を嬉しそうに食べらる方も多いっしゃいました。食事会では、お弁当やスイカを美味しそうに食べられていました。皆さんと交流ができる良い機会になりました。

夏祭りは皆さんの大好きな笑い声と沢山の笑顔に包まれました。

あゆみ苑 成人祭

八月三日、あゆみ苑夏まつりが開催され、テーマは「キラリ☆みんなダイヤモンド！」
出し物では、巫女さんに扮したスタッフに先導されて神前式の模擬結婚式が執り行われました。また、ファッショニショー、ガラポンくじやお化け屋敷も開催し、閉会式では毎年恒例のくじ引き抽選会！名前を呼ばれるたびに会場が沸いて大盛り上がりの抽選会でした！
当日参加して下さった「ゼノ」なみの家のみなさん、本当にありがとうございました！

福山六方学園

八月三日、あゆみ苑夏まつりが開催され、テーマは「キラリ☆みんなダイヤモンド！」
出し物では、巫女さんに扮したスタッフに先導されて神前式の模擬結婚式が執り行われました。また、ファッショニショー、ガラポンくじやお化け屋敷も開催し、閉会式では毎年恒例のくじ引き抽選会！名前を呼ばれるたびに会場が沸いて大盛り上がりの抽選会でした！
当日参加して下さった「ゼノ」なみの家のみなさん、本当にありがとうございました！

サポートセンター ひびきの家

さわらび

社会見学

さくら

さくらでは、夏イベントとして社会見学を行いました。今回で三回目となる社会見学は万田酵素のCMでお馴染みの、万田発酵株式会社さんの工場にお邪魔させていただきました。

八月二十四日に、さわらび・きりり合同で夏祭りを行いました。夏祭り実行委員会を立ち上げ、利用者の方々と職員でどんな催し物をするのか話し合い、準備の段階から皆で楽しんでいました。

夏祭り当日、太鼓の音と共に祭りが始まり、皆さん思い思いの店舗へ足を運んで玉として、手作りパフェを朝から準備をしました。今年の目玉として、手作りパフェを朝から準備をしました。その甲斐もあり大盛況となり、楽しみにしていました。皆さんと交流ができる良い機会になりました。



さくらでは、全ての興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。次回は十二月頃の予定です。

シアターで発酵と酵素についての映像を見て学び、発酵・熟成中の万田酵素を実際に見学し試食をさせていただきました。また、創業者との仲間が度重なる苦労を経て万田酵素を完成させた話を聞き、共感を得ました。

さくらの職員や利用されている方々も、役割がありまます。例えば、計量作業は苦手だけれど選別作業が得意、選別作業は苦手だけれど草取り作業は得意。皆作業は苦手だけれど草取り作業は得意。それぞれキラリと光るものがあります。

さくらでは、全ての作業ができる必要はありません。「できる」とを活かして、力を合わせて頑張つていきましょう！



わくわく体験

福山六方学園 デイキャンプ

八月二十二日に、デイキャンプを行いました。今年はみんなでからあげカレーを作りました。食事が完成するまでは、テントに入ったりハンモックに揺られてみたりと、それぞれ自然を感じながら過ごされていました。出来上がったカレー、ライスは大満足の味で、保護者の方々も一緒にみんなで美味しく食べました。食事中には利用者さんの出し物もあり、この日の為に練習した歌などを披露しました。

日がだんだん落ちてくると、トーチに火を点け、キャンプファイヤーをしました。ひと夏の良い思い出になります。楽しい声がたくさん響いた素敵なものでした。



さわらび 宿泊体験



八月二十八・二十九日で第一班、九月三・四日で第二班の、計二班に分かれて今年もさわらびの建物内で宿泊体験を行いました。一班の夕食は焼肉丼とラーメン、二班はトップシングカレー、などそれぞれの班でメニューを決め、買い物から調理まで参加者全員で協力し合い作りました。みんなで作った夕食は一段と美味しく、また賑やかに食事をする楽しめました。夜には花火をしてさらに盛り上がり、みなさんの笑顔が溢れた宿泊体験となりました。

サポートセンターひびきの家 ホームふじ「旅行」IN 東京&大阪

ふじでは利用者さん一人一人スタッフ二人、計四名で六月二十八日、二十九日で大阪旅行へ行つて来ました。その内のお一人の一番お墓参り後利用者さんの親戚の方と皆で



コーヒーを飲みました。久しぶりに顔を見る事が出来、とても嬉しそうにされていました。その後不死王閣と言う旅館に泊まり会席料理を食べました。次の日は吉本新喜劇を観に行き、また行きたいねと話しかしながら帰りました。とても楽しい時間を過ごす事ができました。



帰りの新幹線では事故の為、岡山駅より在来線で帰ると言うアクシデントもありましたが一生忘れられない思い出になりました。

品川のアクアパークや、浅草の雷門から浅草寺までの仲店通りを見て回りました。美味しいアイス最中、雑貨なども買われあつと言う間に時間が過ぎてしまいました。

利用者さん三名職員一名で東京旅行へ行つて来ました。その内のお一人の一番は、やっぱり大好きなお父さんに会われ一緒の時間を過ごせた事です。

東京

大阪

ありがとうございました (2018.7.1~2018.9.30)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。
(敬称略・順不同)

*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

○ご寄贈 ・JFEスチール株式会社 西日本製鉄所
・福山ロータリークラブ ・関係者(3名)

実習生・交流

保育士	8月 2日～10日間 8月20日～10日間 8月13日～10日間 8月27日～10日間 9月 1日～10日間 9月 3日～10日間 9月14日～10日間	安田女子短期大学 岡山短期大学 比治山大学 安田女子短期大学 福山平成大学 広島文教女子大学 福山平成大学	4名 2名 2名 2名 1名 1名 2名
社会福祉士	7月23日～8月17日 8月20日～9月18日 9月14日～9月30日	広島福祉専門学校 九州保健福祉大学 県立広島大学	1名 1名 1名

今後の予定

全体

11月23日…勤労感謝の集い

12月 9日…一日強歩

福山六方学園

10月…親子行事 ハロウィンパーティー

11月…秋祭り(収穫祭)

12月…クリスマス会

1月…初詣 餅つき

あゆみ苑成人寮

11月 陽と風と展

12月 曜の星クリスマス会 クリスマス会

さわらび

10月 宿泊旅行(オプション)

12月 クリスマス会

サポートセンター友の家

11月…GH交流会 ふうりんの集い 感謝の集い

12月…GH交流会 ふうりんの集い ウォーキング



あゆみ苑成人寮

前日から雨が心配されていましたが、当日は晴れ間が広がり、絶好の運動日和となりました。開会式終了後、すぐに全員参加の玉入れが始まりました。皆さんカゴ目がけで一生懸命玉を投げていました。その後、それぞれエントリーしている競技に分かれ、勢いよく走ったり、思い切り投げたりと楽しみながら参加出来たのではないかと思います。その中でドッヂボール転がしに参加された方が、2位を取る事ができ、表彰されました。本人も大変喜ばれ、大きな声で「ありがとう！」といわれていたのが印象的でした。

また来年度のスポーツ大会も利用者の方が良い結果を出せるようにサポートしていけたらと思います。

福山六方学園

福山六方学園からは3名の方が参加され、とても暑かったですが、みんなとても頑張っていました。競技には50m走とソフトボール投げに参加され、入賞できるように必死に走り、思いっきり投げていました。競技が終わったあとには、やり切ったと疲れた様子でした。1名の方が、50m走で2位、ソフトボール投げで1位を獲得しました。また来年も入賞できるように頑張りたいと言っていました。入賞できなかった方は来年は入賞したいと意気込んでいました。来年も頑張ってもらいたいです。



サポートセンター 友の家

友の家からは、6人のグループホームの仲間が参加。50m走やソフトボール投げなど、みなさんそれぞれ力いっぱい競技を楽しみました。中には、50m走で2位の表彰をされた方や、「ファイト～イッパ～ツ」と大きな声で気合を入れて走る方もおられ、暑い一日でしたが参加したみんなの楽しそうな笑顔が輝いていた一日でした。来年は、もっと早く走れるようになると話したり、もっと遠くにボールを投げたいと、すでに心は来年の親善スポーツ大会に向いていました。

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)

あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(就労移行支援事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)

サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)

サポートセンター友の家(共同生活援助事業)

さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)

ヘルピーステーションあしどと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)

ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業あさか)(障がい児等療育支援事業)

ふあんたす(放課後等デイサービス)

相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

つるべ

秋の日は、釣瓶落としの言葉通り、暮秋の空を渡っていく鳥影もすぐに夕闇に溶けてしまいます。秋氣肌にしむ時節、風邪など召されませぬようご自愛ください。

(編集スタッフ一同)